

9月27日 年間第26主日

イエスへの信仰を守る

マルコによる福音書 9 章 38～43、45、47、48 節

³⁸ ヨハネがイエスに言った。「先生、お名前を使って悪霊を追い出している者を見ましたが、わたしたちに従わないので、やめさせようと思いました。」³⁹ イエスは言われた。「やめさせてはならない。わたしの名を使って奇跡を行い、そのすぐ後で、わたしの悪口は言えまい。⁴⁰ わたしたちに逆らわない者は、わたしたちの味方なのである。⁴¹ はっきり言うておく。キリストの弟子だという理由で、あなたがたに一杯の水を飲ませてくれる者は、必ずその報いを受ける。」

⁴² 「わたしを信じるこれらの小さな者の一人をつまずかせる者は、大きな石臼を首に懸けられて、海に投げ込まれてしまう方がはるかによい。⁴³ もし片方の手があなたをつまずかせるなら、切り捨ててしまいなさい。両手がそろったまま地獄の消えない火の中に落ちるよりは、片手になっても命にあずかる方がよい。⁴⁵ もし片方の足があなたをつまずかせるなら、切り捨ててしまいなさい。両足がそろったまま地獄に投げ込まれるよりは、片足になっても命にあずかる方がよい。⁴⁷ もし片方の目があなたをつまずかせるなら、えぐり出しなさい。両方の目がそろったまま地獄に投げ込まれるよりは、一つの目になっても神の国に入る方がよい。⁴⁸ 地獄では蛆が尽きることも、火が消えることもない。」

他の朗読：民数記 11:25～29 詩編 19:8, 10, 12～14 ヤコブ 5:1～6

Lectio …読む

イエスは再び弟子たちを驚かせます。イエスの名前を使って悪霊を追い出している、ほかの誰かがいたようです。弟子たちはその人が仲間ではないため、それをやめさせようとしています。

イエスは、やめさせてはならない、と言って弟子たちを驚かせます。イエスの弟子たちへの説明はとても実践的です。イエスの名を使って奇跡を行う者は、うって変わってイエスの宣教に反対することはできません。詳しい事情が伝えられていないので、どうしてこの人がイエスの弟子たちとより親しくならなかったのかは不明です。しかし、イエスに従っている、という理由でイエスの弟子たちの一人に示された親切は必ず報われる、とイエスははっきり述べています。

その後イエスは罪への敏感さについて述べます。小さき者の信仰を失わせる人を強く戒めます (42 節)。

イエスは、誰であれ、何であれ、イエスへの信仰を失わせるように躓かせるものを許してはならない、と言ってご自分の教えをまとめます。イエスはその重大さを強調するために三回も同じことを繰り返すのです。これは生きるか死ぬかの問題であり、天国か地獄かの問題です。私たちは、人生の中心をはっきりとイエスと神の国に当てなければならないのです。

Meditatio …黙想する

弟子たちはどのような理由で、イエスの名前を使って悪霊を追い出す人をやめさせたかったのだと思いますか。

この箇所は、誘惑と罪にどのように関わったらいのかという問題について、何を教えてくれるでしょうか。私たちは神が捉えるのと同じくらい深刻にこの問題を捉えているでしょうか。

私たちが他の人々に対して負っている責任について、特に子どもたちのイエスへの信仰に対する責任について何を学ぶことができますか。

Oratio …祈る

聖書を読んだり深めたりすることは、私たちの心を変えてくれます。聖霊がこの変化を助けてくれます。詩編 19 編の言葉は、神に従うことに焦点をあて、罪に陥らないように助けてくれます。この詩編をかみしめながら、あなたの変わるべきところを聖霊が明らかにしてくれるよう、時間をとってみましょう。もし私たちが自分の罪を認めるならば「罪を赦し、あらゆる不義から私たちを清め (1ヨハネ 1 章 9 節)」ると、神は約束してくださっています。

Contemplatio …観想する

民数記 11 章 25 ～ 29 節は、正しくないと思われることを誰かが行った時に、ヨシュアが弟子たちと同じような反応を示したことを伝えています。モーセは、イエスが弟子たちにしたように、ヨシュアに反対する立場を取りました。今までの聖書朗読から私たちが学んできたように、神は私たちの心の態度にこそ関心があるのです。

ヤコブ 5 章 1 ～ 6 節は、地上の富を頼って、他の人々を搾取している者への戒めです。神はそのような人々を裁くでしょう。キリスト者の利己的で愛のない行為が、他の人々に教会やイエスへの信仰を失わせる原因となることが十分ありえるのです。私たちの個々の生き方がイエスを映すものでなければなりません。思いやりのないことばや行動が他の人々に重大な影響を与えうるのです。